



総務常任委員会資料
2022年(令和4年)3月7日
政策局SDGs推進室

生理用品サポート事業の実施状況について

生理用品サポート事業「きんもくせいプロジェクト」の実施状況について報告します。

1 学校のトイレに生理用品を配備するモデル事業について

生理用品サポート事業を実施する中で、児童生徒が先生に生理用品の相談をすることは、心理的負担が大きいとの声を踏まえ、さらなる児童生徒へ寄り添った支援につなげるため、学校のトイレに生理用品を配備するモデル事業を実施するとともに、児童生徒や学校にアンケートを実施しました。

(1) 実施場所

- ①明石商業高等学校
- ②高丘小中一貫教育校(高丘中学校、高丘東小学校、高丘西小学校)

(2) 実施期間

- ①2021年7月1日(木)～12月24日(金)
 - ②2021年10月4日(月)～12月24日(金)
- ※実施期間後も、引き続き生理用品を配備しています。

(3) 実施状況

資料1のとおり

(4) 小中学校児童生徒のアンケートの集計結果

資料2のとおり

(5) 小中学校からのご意見等

資料3のとおり

(6) 今後の取組について

モデル事業の実施において、大きな支障となる事例は見受けられませんでした。また、生理用品の設置を必要とする児童生徒が一定存在することが確認できたことから、2022年度からは、この取組を全市立学校において実施する予定であり、各学校での具体的な設置方法等について、調整を図っていきます。

2 相談窓口における配付状況(4/1~1/31)

相談窓口	配付実績内訳等					配付数
学校	小学校・養護学校 38		中学校 34	高校 6		78
明石こどもセンター	来所時に配付 118			訪問時に配付 39		157
AKASHI ユーススペース	小学生 6	中学生 33	高校生 17	大学生等 56	一般 90	202
あかし男女共同参画センター	19歳以下 38	20歳代 45	30歳代 96	40歳代 136	50歳以上 30	345
きんもくせい相談窓口 (生活再建支援) DVセンター 母子父子自立支援 ひきこもり相談等	19歳以下 6	20歳代 8	30歳代 17	40歳代 17	50歳以上 4	52
こども食堂	こども財団から、各こども食堂運営者に連絡					39
配付合計						873

(本事業を通じて相談につながった件数)

63件(4/1~1/31)

(主な相談者の声)

- ・親への金銭的な援助と夫からのDVで困っている。(40歳代)
- ・休職中だが、仕事が決まらない。生活が大変。(50歳代以上)
- ・コロナの影響で給与が減って生活が困窮しつつある。配付は助かる。(30歳代)
- ・一人暮らしで、親からの援助もなく困っていたので嬉しい。(大学生)
- ・このような配付があることに感謝している。(20歳代)
- ・家庭について悩みがあったが、相談してよかった。(10歳代)